

授業概要

公共、民間のスポーツクラブや施設などは「するスポーツ」、プロスポーツチームなどは「みるスポーツ」というように、スポーツ組織は人々に様々なスポーツサービスを提供しています。スポーツマネジメントでは、これらのスポーツサービスを効率的に生み出し消費者に提供するために、「ヒト、モノ、カネ、情報」といった経営資源をうまく配分、管理することが重要になります。そこで本講義では、スポーツ組織がスポーツサービスを生み出し、提供する過程で必要な、さまざまな経営活動について学ぶことを目的として講義を実施します。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション/スポーツマネジメントとは？
第 2 回	スポーツマネジメントの対象
第 3 回	スポーツプロダクト
第 4 回	スポーツをする人/みる人
第 5 回	スポーツ組織とその経営資源
第 6 回	スポーツ組織の人的資源管理
第 7 回	スポーツ組織の会計と財務
第 8 回	スポーツにおけるガバナンス
第 9 回	スポーツのマーケティング
第 10 回	メガスポーツイベントのマネジメント
第 11 回	地域スポーツのマネジメント
第 12 回	学校体育・スポーツのマネジメント
第 13 回	まとめ
第 14 回	期末試験
第 15 回	期末試験の解説
第 16 回	レポートの提出

到達目標

本講義は、以下の 2 点を到達目標とします。

- (1) スポーツマネジメントが対象とする範囲の事象について、用語を用いて説明できる。
- (2) スポーツマネジメントに関係する知識（用語）を用いて、自分の考えを他者に説明できる。

履修上の注意

本講義は、参考文献を購入しなくても講義内で配布する資料のみで皆さんの学習が進むように設計します。一方で、講義で触れる内容がスポーツマネジメントの全てではありません。したがって、講義を受ける中で気になった内容があった場合や、発展的な内容を学びたいと思った場合は、松原まで連絡をください。その内容が学べる文献の紹介をします。皆さんの積極的な学びを期待しています。

予習・復習

本講義では特に予習を設定しません。しかし、スポーツ経営が対象とする範囲は広く、日々新しい出来事が起きます。したがって、講義の復習として、スポーツに関連するニュースを常にチェックし、講義で学んだ内容がどのように適応されるのかを、講義内で配布される資料と照らし合わせながらよく検討してください。

評価方法

毎回の小レポート、中間レポートおよび期末試験によって以下の通り 100 点満点で評価します。

- ・小レポート（2点×13+4点×1=30点）、中間レポート（20点）、期末試験（50点）

テキスト

- ・参考書：図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント
- ・著者：山下秋二ほか
- ・出版社：大修館書店
- ・ISBN：978-4-469-26804-1